債務承認弁済契約書

債権者（甲）　氏名　　◯◯　◯◯　　　　　　　印

住所　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

債務者（乙）　氏名　　　◯◯　◯◯　　　　　　印

住所　　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

連帯保証人（丙）　氏名　　　◯◯　◯◯　　　　　　印

住所　　　◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯◯

甲、乙および丙は、次の通り債務承認弁済契約を締結した。

第1条　（債務の確認）

平成◯◯年◯月◯日現在、乙は甲に対し、平成◯◯年◯月◯日に締結した金銭消費貸借契約に基づく借入金債務として、金◯◯◯円 の債務を負っていることを確認する。

第2条　（利息）

利息は年◯◯パーセントとする。

第3条　（返済方法および利息の支払い方法）

乙は、甲に対し、第1条の借入金および第2条の利息について、平成◯◯年◯月◯日から◯月◯日の間、毎月◯日までに金◯◯◯◯◯◯◯円を、甲の指定する銀行口座に振込む方法で支払う（元利均等分割返済）。振込手数料は乙の負担とする。

第4条 （遅延損害金）

乙が本契約に基づく債務の履行を遅滞したときは、期限日の翌日から遅滞金額の完済まで、乙は甲に対し、遅滞金額に対して年◯◯％の割合で遅延損害金を支払う。

第5条　（他の債務の確認）

甲と乙の間には、本契約書に定める以外に何らの債権債務のないことを確認する。

第6条 （期限の利益の喪失）

乙について、次の事由のうちいずれかが生じた場合は、甲からの通知・催告がなくても乙は当然に期限の利益を失い、ただちに元金と利息 を支払う。

1. 第3条の支払いを2回以上怠ったとき。
2. 他の債務について仮差押、仮処分または強制執行を受けたとき。
3. 他の債務について競売、破産または民事再生の申立てを受けたとき。
4. 振出、裏書または保証した手形・小切手が不渡りとなったとき。
5. 税金の滞納処分を受けたとき。
6. 甲に通知せずに、住所を移転したとき。

第7条　（連帯保証人）

丙は、乙の甲に対する債務を連帯して保証する旨約束し、乙と連帯してこれを支払う。

上記の債務承認弁済契約を証するため、本契約書3通を作成し、各当事者 署名押印のうえ、各1通を所持する。

平成◯◯年月◯日